



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社アーレスティ 上場取引所 東  
 コード番号 5852 URL http://www.ahresty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 新  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石丸 博 TEL 03-6369-8660  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	32,312	17.1	617	165.9	336	51.4	374	98.6
26年3月期第1四半期	27,593	6.4	232	△52.3	222	△26.0	188	278.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △819百万円 (-%) 26年3月期第1四半期 2,619百万円 (836.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	14.52	14.45
26年3月期第1四半期	8.75	8.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	133,663	53,566	40.0
26年3月期	137,233	54,592	39.7

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 53,487百万円 26年3月期 54,512百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	6.00	14.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 平成26年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	65,500	12.7	1,700	98.7	1,300	66.7	850	△65.0	32.91
通期	135,300	6.7	4,800	7.9	4,000	△0.3	2,500	△60.1	96.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期1Q	26,027,720株	26年3月期	26,027,720株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	203,284株	26年3月期	203,106株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期1Q	25,824,576株	26年3月期1Q	21,564,304株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融政策の効果などにより、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による弱い動きがみられるものの、企業収益の改善、株価の上昇など緩やかな回復基調が続きました。海外においては、アメリカでは景気は回復しており、アジアでは中国の景気の拡大テンポが緩やかになっており、インドの景気が底ばい状態となっているなど、世界の景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しています。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高32,312百万円(前年同四半期比17.1%増)、営業利益617百万円(前年同四半期比165.9%増)、経常利益336百万円(前年同四半期比51.4%増)、四半期純利益374百万円(前年同四半期比98.6%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① ダイカスト事業 日本

国内では、主要顧客である自動車メーカーにおいて、消費税率引上げの影響から4月、5月の国内販売実績が減少に転じたものの、好調な軽自動車の販売は前年同四半期を上回っており、北米市場、中国市場向けの車種も好調を維持しています。当社においてもこれらの影響を受け、受注量はほぼ前年同四半期と同水準であるものの主に地金市況の高騰影響等により売上高は15,005百万円(前年同四半期比5.4%増)となりました。収益面においては、前年同四半期比ではほぼ横ばいに推移し、セグメント利益は621百万円(前年同四半期比0.3%増)となりました。

## ② ダイカスト事業 北米

北米では、アメリカでの好調な自動車販売の影響を受けた受注の増加、また、部品の新規立ち上がりなどにより売上高は9,486百万円(前年同四半期比32.2%増)となりました。収益面においては、アメリカでの急激な生産増加に伴う対応の遅れ等の影響により、セグメント損失は43百万円(前年同四半期はセグメント利益73百万円)となりました。

## ③ ダイカスト事業 アジア

中国では、主要顧客である日系自動車メーカーにおいて、日中関係の動向を受けて減少した自動車生産が回復したことに加え、円安基調にある為替の影響により、当社においても売上高が増加しました。この結果、アジアでの売上高は6,199百万円(前年同四半期比33.2%増)となりました。収益面においては、増収による増益効果等により、セグメント利益は58百万円(前年同四半期はセグメント損失355百万円)となりました。

## ④ アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、受注量が前年同四半期比で3.8%減少したものの、販売価格が上昇したことにより売上高は1,129百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。収益面においては、使用原材料の高騰等の影響により、セグメント損失は0百万円(前年同四半期はセグメント利益12百万円)となりました。

## ⑤ 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業や通信会社のデータセンター向け物件等の受注が増加したことにより、売上高は491百万円(前年同四半期比18.2%増)となりました。収益面においては、価格競争の激化等によりセグメント損失は19百万円(前年同四半期はセグメント損失13百万円)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ3,570百万円減少して133,663百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少2,677百万円、売上債権の減少1,673百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ2,545百万円減少して80,096百万円となりました。主な要因は、借入金の減少2,556百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ1,025百万円減少して53,566百万円となりました。主な要因は、為替換算調整勘定の減少1,337百万円、四半期純利益374百万円であります。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末39.7%から40.0%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が72百万円増加し、利益剰余金が50百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,791	6,113
受取手形及び売掛金	25,924	24,251
商品及び製品	3,303	3,478
仕掛品	4,062	4,639
原材料及び貯蔵品	3,171	3,341
その他	3,666	4,062
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	48,920	45,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,710	14,553
機械装置及び運搬具(純額)	40,813	42,168
土地	5,252	5,247
建設仮勘定	9,862	8,583
その他(純額)	7,568	7,071
有形固定資産合計	78,208	77,624
無形固定資産	1,340	1,323
投資その他の資産		
投資有価証券	5,964	6,155
その他	2,800	2,673
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,764	8,828
固定資産合計	88,313	87,777
資産合計	137,233	133,663
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,140	14,549
電子記録債務	4,574	4,635
短期借入金	6,676	6,497
1年内返済予定の長期借入金	9,848	9,211
未払法人税等	1,526	497
賞与引当金	1,254	1,995
役員賞与引当金	28	—
製品保証引当金	180	170
その他	7,612	8,555
流動負債合計	46,841	46,110
固定負債		
長期借入金	26,490	24,750
退職給付に係る負債	4,913	5,014
その他	4,396	4,221
固定負債合計	35,800	33,985
負債合計	82,641	80,096

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,939	6,939
資本剰余金	10,180	10,180
利益剰余金	32,035	32,204
自己株式	△304	△304
株主資本合計	48,851	49,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,540	2,662
為替換算調整勘定	3,660	2,323
退職給付に係る調整累計額	△539	△519
その他の包括利益累計額合計	5,661	4,467
新株予約権	79	79
純資産合計	54,592	53,566
負債純資産合計	137,233	133,663

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	27,593	32,312
売上原価	25,130	29,221
売上総利益	2,462	3,090
販売費及び一般管理費	2,230	2,473
営業利益	232	617
営業外収益		
受取利息	5	2
受取配当金	44	49
為替差益	144	—
スクラップ売却益	21	28
その他	22	40
営業外収益合計	238	121
営業外費用		
支払利息	244	294
為替差損	—	80
その他	3	27
営業外費用合計	248	402
経常利益	222	336
特別利益		
固定資産売却益	2	5
補助金収入	14	3
特別利益合計	17	9
特別損失		
固定資産除売却損	13	20
投資有価証券売却損	9	—
特別損失合計	23	20
税金等調整前四半期純利益	215	325
法人税、住民税及び事業税	369	450
法人税等調整額	△342	△499
法人税等合計	27	△49
少数株主損益調整前四半期純利益	188	374
四半期純利益	188	374



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	188	374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	121
為替換算調整勘定	2,036	△1,337
退職給付に係る調整額	—	20
その他の包括利益合計	2,430	△1,194
四半期包括利益	2,619	△819
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,619	△819
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	14,238	7,174	4,655	1,109	415	27,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,040	8	236	632	—	1,917
計	15,278	7,183	4,892	1,741	415	29,511
セグメント利益又は損失(△)	619	73	△355	12	△13	336

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	336
セグメント間取引消去	△104
四半期連結損益計算書の営業利益	232

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	ダイカスト事業			アルミニウム事業	完成品事業	
	日本	北米	アジア			
売上高						
外部顧客への売上高	15,005	9,486	6,199	1,129	491	32,312
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,282	2	212	805	0	2,302
計	16,288	9,489	6,411	1,934	491	34,615
セグメント利益又は損失(△)	621	△43	58	△0	△19	617

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	617
セグメント間取引消去	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	617

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。